

別紙2

※ 令和4年度から令和6年度において、「本県公立学校で臨時的任用職員として勤務実績のある者（講師、養護教諭等）」及び「本県の公立学校において正規職員として勤務実績のある者（教諭、養護教諭等）」のみ提出してください。

勤務状況調書

※ 志願者が記入、選考区分・学校種・志願職種については該当するものを○で囲み、所属長へ依頼してください。

選考区分 一般選考 ・ 障害者特別枠	学校種 高等学校	職 種 実習助手 ① 一般 ② 工業 ③ 農業		受験番号 ※ 記載不要	
	特別支援学校	④ 実習助手 ⑤ 寄宿舎指導員		氏名	
				生年月日	年 月 日生(歳) 令和7年4月1日現在
1 勤務状況 ※ 各項目の評価の観点は、本年度実施の勤務状況調書と同じ。					
評価区分 評価の 観点等	評 価 (該 当 欄 に ○ 印)				
	きわめて 優れている	優れている	さらに 経験が必要	研修が必要	特記事項 ※ 特記事項がある場合に記載
(1)学習指導					
(2)生徒指導					
(3)対人関係					
(4)服務状況					
2 総合評価	A きわめて 優れている	B 優れている	C さらに 経験が必要	D 研修が必要	※A～Dのいずれかを○で囲む。
	具体的な理由 必ず「具体的な理由」を記入してください。				
3 心身の健康状況				良好 その他 ()	
4 当該校の発令期間				年 月 日から 年 月 日まで	
上記のとおり判断する。 令和 年 月 日 所属名 (電話 - -) 職 名 氏 名 公印					

- 注) 1 親展封筒として取り扱うこと。
 2 記載者は、原則として現勤務校（あるいは直近の勤務校）の校長とする。
 3 複数校勤務の場合は、過去2か年のうち、勤務期間の長い学校を1校選び（事情によっては直近の勤務校でも可。）提出する。
 4 この勤務状況調書は、選考日当日、持参する（親展扱い：「千葉県教育委員会」宛て）。

【勤務状況評価の観点】

項目	評価の観点
(1) 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に合わせた授業展開ができ、児童生徒を授業に集中させている。 ・指導計画を作成し、これに基づき学習指導を行っている。 ・教材研究その他の準備に熱心に取り組み、教材を効果的に活用している。 ・自らの学習指導を適切に振り返り、教育活動の改善に活用している。 ・児童生徒の実態に合わせた授業展開をするために、児童生徒の実態を適切に観察している。
(2) 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の抱く悩みや思いを受け止め、心を理解するために必要な能力や意欲がある。 ・児童生徒の健康や安全の指導に配慮している。 ・児童生徒の中に進んで溶け込み、実態に応じた指導ができる。 ・学級内における児童生徒の人間関係づくりに適切な配慮ができる。 ・児童生徒に毅然とした指導ができ、集団に対し、首尾一貫した指示が出せる。
(3) 対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・自説にこだわることなく、同僚等の助言を素直に受け入れる。 ・他の職員と適切なコミュニケーションを持ち、協力して課題を解決しようとする。 ・上司への報告や同僚との連絡を適切に行っている。
(4) 勤務状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、職責や守るべき義務（法令の遵守や秘密の保持等）を自覚して、職務に取り組む姿勢が見られる。 ・自らの健康に留意し、心身ともに良好な状態で勤務に当たっている。

【資質・能力評価の観点】

項目	評価の観点
(1) 人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、活力があり、誠実さがある。 ・自らの課題を認識し、前向きに努力しようとしている。 ・協調性があり、素直に人の話を受け入れられる。 ・児童生徒の考えや意見をしっかりと受け止めている。
(2) 資質・情熱	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として自覚と誇りを持っている。 ・教育に対して強い熱意を持っている。 ・課題に対してよりよい解決方法を見つけようとしている。 ・柔軟性に優れ、時と場に応じた指導ができています。 ・児童生徒の気持ちに配慮しながら理解を深め、信頼関係を築こうとしている。 ・児童生徒の興味関心や発言を引き出すための工夫をしている。
(3) 指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての識見が十分にある。 ・児童生徒の意見や考えを受け入れ、実態に即した指導ができる。 ・児童生徒の考え等をよく把握し、分かりやすい授業を行っている。 ・授業のねらいが明確で、説明・発問が簡潔明瞭である。 ・児童生徒の発達段階と場に応じた指導をしている。